

## 令和4年度（文化遺産課）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	勤務時間外や職場外においても公務員としての自覚を持ち、県民の信頼を損なうことのないよう法令遵守意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所属職員全員を対象に職場研修を実施し、「神奈川県職員行動指針」の内容を改めて周知・徹底した。</li> <li>○ その結果、法令に違反する行為を行った課員はなく、法令遵守意識の向上が図られた。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員の人権意識の向上を図り、公務内外を問わず、パワハラ・セクハラ・マタハラといったハラスメント行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所属職員全員を対象に職場研修を実施し、ハラスメント問題についての理解を深めた。</li> <li>○ その結果、公務内外を問わず、課員によるハラスメント行為は発生しなかった。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	適切な情報管理と取扱いを徹底し、個人情報などの重要情報の漏洩、紛失を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所属職員全員を対象に職場研修を実施し、個人情報など重要情報の適切な管理、取扱いについて注意喚起を行った。</li> <li>○ その結果、情報管理や取扱いが徹底され、個人情報等の漏洩や紛失は生じなかった。</li> </ul>
業務執行体制の確保等	職員間の相互チェック体制、業務協力体制を確立し、業務の遅延やケアレスミス等を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員一人ひとりが、情報共有、相互チェックを徹底し、グループ員の業務も積極的に協力し、各グループリーダーによって、朝夕ミーティング等において職員の業務スケジュールや進捗状況を把握し、業務執行が適切に行われているか確認した。</li> <li>○ その結果、年間を通じて重大なミスは生じなかった。</li> </ul>
財務事務等の適正執行	財務規則などの関係規程や通知等を遵守した適切な事務手続きを徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 執行上のミスは生じなかったが、4月の会計検査で、民間の国庫補助事業の消費税仕入れ控除の手続きに係る誤りが指摘され、補助事業を監督する立場の県教委にも指導上の是正が求められた。</li> </ul>
ポストコロナにおける風通しの良い職場づくり	コロナ禍が落ち着きつつある現状において、薄れていた職員同士のコミュニケーションが十分に取ることができて、お互いに相談・協力しやすい職場環境の構築に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所属長を始め、職員一人ひとりが、周囲と協力し合い、気軽に相談できるような雰囲気づくりを心掛けた。</li> <li>○ その結果、コロナ禍が終息しつつある状況の中で風通しの良い職場づくりはある程度実現できたものの、コロナ応援やテレワークの実施など、職員同士のコミュニケーションの回復は、必ずしも十分に達成できたとは言えない状況である。</li> </ul>

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(所属長意見)

- 令和4年度不祥事ゼロプログラムについては、職員の不祥事や職務執行上の大きなミスも特段発生せず、「風通しの良い職場づくり」を除けば、おおむね達成できたものと思われる。
- ただし、4月の会計検査で指摘のあった、民間事業者の国庫補助事業における消費税仕入れ控除に係る不適切な手続きについては、再び起こらないように、市町村や事業者への注意喚起など指導の徹底に努めたい。
- 令和5年度においても、特に固有の出先機関や補助金を扱う事業課として、執行関係の事務のミスは許されるものではなく、職員同士の相互チェックや進行管理の徹底を引き続き図っていきたい。また、コロナ禍の影響も受けた「風通しの良い職場づくり」はコロナ禍が終息に向かっている現状の中で、引き続き状況の改善に取り組んでいきたい。